

地域の健康を想う、つがる西北五広域連合の広報誌

つながる

第24号

ご自由にお持ちください



【市民公開講座を開催した、つがる総合病院の副看護部長と認定看護師のみなさん】

本号の表紙

つがる総合病院の看護部認定看護師会が主催する市民公開講座を令和6年11月9日(土)に開催しました。当日は、40名ほどの参加者がつがる総合病院1階大ホールに集まり、つがる総合病院の認定看護師と交流しました。

※ 認定看護師とは、日本看護協会が主催する認定審査に合格し、ある特定 の看護分野において熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護 実践のできる者を言います。

令和7年1月1日時点で、西北五地域では唯一つがる総合病院にのみ 所属しており、看護師の育成や高度な看護提供に寄与しています。 連合議会や職員採用 試験などの情報は、 下記ホームページで ご確認ください。 同

https://www.tsgren.jp



地域の医療を支えるための多様な取組み

本号では、つがる西北五広域連合立病院の、つがる総合病院、かなぎ病院、鰺ヶ沢病院及びつがる西北五広域連合事務局が地域の医療を支えるために行っている取組みをご紹介します。

1 市民公開講座

つがる総合病院



11月9日に開催した市民公開講座の様子

つがる総合病院において、令和6年11月9日(土)に市民公開講座「高齢者・ 認知症ケア」を開催しました。

高齢化が進み、在宅での療養が増える中、療養生活に活かせる知識や技術について、当院の認定看護師7名がパネルにまとめ上げ、「高齢者虐待」「手指衛生」「救急外来」「治療経験」「緩和ケア」「誤嚥性肺炎予防」「褥瘡予防対策」ブースにおいて、参加者に説明したほか、具体的なケアや対応方法に関する相談に対面でお応えしました。

参加者からは、通常の講義形式でなく、自由にブースを回ることができ、 気軽に認定看護師らとお話することができて良かったとのお声をいただきま した。

当院では、今後も認定看護師による市民公開講座を続けていきたいと考えていますので、お気軽にご参加ください。

2 感染症の拡大防止研修

かなぎ病院

かなぎ病院では、令和6年10月から11月にかけて、全職員を対象に、嘔吐物に含まれる菌やウイルスの感染を防ぐための嘔吐物処理法の研修を行いました。

研修では、感染症に詳しいリンクナース等の職員を講師として、除菌洗浄剤や 使い捨てゴム手袋等の実際に使用する資材を用いて、実践・指導を行いました。

初期対応の誤りで、集団感染を引き起こすケースがありますが、感染性のある 嘔吐物を処理する機会は少なく、また、経験のある職員も多くないため、本研修 を活かして、嘔吐物による感染拡大の防止につなげていきます。



嘔吐物処理法研修の様子

3 安全管理研修会

鰺ヶ沢病院



安全管理研修会の様子

鰺ヶ沢病院では、安全管理委員会と医療安全推進室が連携し、院内における インシデント※1レポートによる情報の収集、分析、改善策の提案等を行い、 医療事故防止のための活動に取り組んでいます。

また、年に2回、全職員を対象とする研修会を開催しています。1回目となった令和6年7月には、「インシデントレポートの目的とその必要性」をテーマに、eラーニングによる安全管理研修会を開催し、職員の安全管理に対する意識の向上に努めています。

※1 インシデント: 医療の過程においてエラーが発生したか、あるいは発生しかけたが患者に障害を 及ぼすことなく医療事故には至らなかったものを指します。「ヒヤリハット事例」とも言われます。

4 医療的ケア児支援検討会議

つがる西北五広域連合事務局

近年、たん吸引や人口呼吸器の管理など、常時医療的ケアが必要なお子様、いわゆる医療的ケア児が増えつつありますが、児童本人や御家族に対する支援 体制が整っていないのが実情です。

つがる西北五広域連合では、令和5年度から医療的ケア児支援検討会議を設置し、圏域に居住されている医療的ケアが必要なお子様やその御家族が地域において適切な支援を受けながら安心して生活を営むことができるよう、医療、福祉、教育、行政といった関係機関との連携強化を図っています。



医療的ケア児支援検討会議の様子

hinotori TM サージカルロボットシステムの導入及び運用開始について



「hinotori™サージカルロボットシステム」 (以下、「hinotori™」)は、国産初の内視鏡 下手術※1用「ロボットマニュピレータ※2」 で、医師が手元のマスタアームを操作し、その 動きを手術器具を取付けたロボットアームがト レースし、手術を行います。

アーム手首部の自由度の高さ、手ブレ防止機能や3D画像で奥行が掴み易く、従来の内視鏡下手術に比べ、より低侵襲※3で精緻な手術を行うことができます。



当院では、令和6年3月に「hinotori™」導入後、4月から手術チーム全体でメーカーの定めるトレーニングプログラムを受け、「hinotori™」操作に必要なライセンスを取得しました。その後、9月には、泌尿器科において前立腺手術を、11月には消化器外科において下部消化管手術を「hinotori™」で行ったところです。

ロボット手術は内視鏡下手術の適応であることが前提となりますが、今後も患者に適応があれば、積極的に「hinotori™」手術を行っていきたいと考えています。

- ※1 内視鏡下手術:お腹を大きく切る(開腹する)のではなく、小さな穴を数か所開け、そこから腹腔鏡(内視鏡の一つ)、手術器具(腹腔鏡手術用鉗子)を 挿入して行う手術をいいます。
- ※2 マニュピレータ:人の手で操作することにより作業を行う機械をいいます。
- ※3 侵襲:「手術」「医療処置」などを行うため、「身体を傷付けること」または「生体の通常の状態を乱す刺激」のことで、低侵襲は、その程度が比較的低い ことを言い、傷の回復が早い、術後の痛み等が軽減されるといった利点があります。

つがる西北五広域連合からのお知らせ

令和6年10月から医薬品の自己負担の仕組みが新しくなりました

後発医薬品(ジェネリック医薬品)がある薬で、先発医薬品の処方を希望される場合は、特別の料金をお支払いいただく場合がございます。

- 後発医薬品は、先発医薬品と有効成分が同じで、同じように使っていただけるお薬です。
- 先発医薬品と後発医薬品の薬価の差額の4分の1相当を、特別の料金として、医療保険の患者負担と合わせてお支払いいただきます。
- 先発医薬品を処方・調剤する医療上の必要があると認められる場合等は、特別の料金は要りません。
- ※ 詳細は、厚生労働省 HP の関連ページをご参照ください。

(厚生労働省作成の掲示ポスターから一部抜粋)

新たな仕組みについて

特別料金の対象となる 医薬品の一覧などは こちらへ



後発医薬品について

後発医薬品(ジェネリック医薬品) に関する基本的なこと



マイナンバーカードの健康保険証利用について

つがる総合病院、かなぎ病院、鰺ヶ沢病院、つがる市民診療所及び鶴田診療所ではカードリーダーを外来窓口に設置しており、マイナンバーカードを健康保険証としてご利用いただくことが可能です。

健康保険証として利用するための申込はスマートフォンでも可能で、マイナポータルで申込方法の詳細を確認できます。

※ 詳細は、厚生労働省 HP の関連ページをご参照ください。

マイナンバーカードの健康保険証利用について https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_08277.html



つがる総合病院のカードリーダー (カードリーダーの型式は、 左記の医療機関共通)

西北西地域の自治体が一つになって地域の医療を支えます

つがる総合病院

〒037-0074

青森県五所川原市字岩木町 12 番地 3 TEL.0173-35-3111(代表) FAX.0173-35-0009

予約採血開始のご案内

当院では、待ち時間の短縮・混雑解消のため、2月3日から「採血の予約制」を開始しております。予約時間に合わせてご来院くださるようお願いします。



※ 前回診察の際に、採血時間の予約をとられた方が対象となります。



つがる市民診療所

〒038-3131 青森県つがる市木造千年4番地 TEL.0173-42-3111 (代表) FAX.0173-42-1526

ご案内

つがる市民診療所は、つがる総合病院のサテライト診療所として、「かかりつけ医」の役割を果たすべく、初期医療の提供、診療時間内における入院を伴わない初期救急対応及び訪問診察、訪問看護等に取り組んでおり、また病気の早期発見や予防を目的として、各種健康診断や予防接種等を実施しております。

かなぎ病院

〒037-0202 青森県五所川原市金木町菅原 13 番 1 TEL.0173-53-3111 (代表) FAX.0173-53-2407



鰺ヶ沢病院

〒038-2761

青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字蒲生 106 番地 10 TEL.0173-72-3111(代表) FAX.0173-72-3367



鶴田診療所

〒038-3503

青森県北津軽郡鶴田町大字鶴田字鷹ノ尾 34 番地 TEL.0173-22-2261(代表) FAX.0173-22-5484

ご案内

集団検診・個別特定健診等で要精密検査と なった方は、令和6年度内に忘れずに受診しま しょう。

できるだけお早めの受診をおすすめしております。

西北五環境整備事務組合の事務承継について

令和7年4月1日から、事務の効率化を図るため、西北五環境整備事務組合の事務をつがる西北五広域連合が引き継ぎます。 今後も、持続可能な体制づくりを進め、圏域全体でより良いサービス提供を目指してまいります。